



## 2023年3月期 第2四半期決算説明会

株式会社SUBARU

代表取締役社長 CEO 中村 知美

2022年11月2日

※2023年2月6日に一部訂正しております。詳細は「(訂正)「2023年3月期 第2四半期決算短信(IFRS)(連結)」の一部訂正について」をご参照ください。

皆さま、こんにちは。SUBARUの中村でございます。

本日はお忙しい中、

株式会社SUBARU 2023年3月期 第2四半期決算説明会にご参加頂き、  
誠にありがとうございます。

また、平素は弊社の事業活動につきまして、多大なるご理解・ご支援を賜り、  
重ねて御礼申し上げます。

■ **第2四半期 累計実績**

- ・ **生産台数**  
半導体供給不足による生産制約の影響は継続していたものの、柔軟に生産計画を調整したことなどにより、上期累計では **前年を上回る実績**
- ・ **営業利益**  
生産台数増および継続する好調な販売モメンタムに円安のプラス影響が加わり、**前年に対し増益**（第1四半期決算同様、急激な為替変動による会計上の減益要因も含む）

■ **通期見通し**

- ・ **生産台数**  
生産は徐々に回復を見込むものの、不透明な状況は継続  
通期の生産見通しはチャレンジ目標としていた **100万台から97万台へ修正**  
下期は **コロナ前の水準である54万台レベルにチャレンジ**
- ・ **営業利益**  
原材料価格高騰の影響を価格政策などにより、一定程度打ち返すとともに円安による増益効果を織り込み、**期初計画の2,000億円から3,000億円に上方修正**

■ **株主還元**

- ・ 期初計画値からの業績上方修正により **年間配当予想を修正（増配）**

冒頭に、私から、決算のポイントについてご説明いたします。

まずは第2四半期の累計実績です。

生産台数および営業利益については、前年を上回る結果となりました。

半導体供給不足による生産制約のリスクは依然として残るものの、柔軟な生産計画の調整などにより生産台数を確保しました。

販売面では、北米を中心に好調なモメンタムが継続したこと、さらに円安のプラス影響が加わったことで、前年に対し増益となり期初に想定していたレベルの結果を残すことが出来ました。

（一拍）

続いて通期見通しです。

生産については、下期も半導体の供給を中心に、不透明な状況は継続しています。そのため通期の見通しは、チャレンジ目標としていた100万台から97万台へ修正しましたが、下期単独では、コロナ前の水準である54万台レベルの生産にチャレンジします。

営業利益については、原材料価格高騰の影響は大きいものの、価格政策などの各種取り組みを進めることに加え、円安による増益効果を織り込み、3,000億円に上方修正しました。

株主還元につきましては、業績を上方修正することから、年間配当予想を修正し、増配を予定しております。

次ページ以降で、第2四半期実績、通期見通しについて簡単にご説明いたします。

## 第2四半期累計実績

(億円)

	2022年3月期 2Q累計実績	2023年3月期 2Q累計実績	増減
生産台数 (千台)	342	425	+84
連結販売台数 (千台)	375	398	+23
売上収益	13,417	17,509	+4,092
営業利益	545	1,104	+560
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	448	779	+331
為替レート US\$	110	130	+¥21

第2四半期の累計実績はご覧の通りです。

生産実績は、前年を約25%上回る 8万4千台増の42万5千台となりました。

連結販売台数は、2万3千台増の39万8千台となりました。

結果として売上収益は前年に対して4,000億円以上の増加、

営業利益も560億円の増加に繋げることが出来ました。

## 通期計画

(億円)

	2022年3月期 通期実績(a)	2023年3月期 前回計画(b)*	2023年3月期 今回計画(c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)
生産台数(千台)	727	1,000	970	+243	-30
連結販売台数(千台)	734	940	920	+186	-20
売上収益	27,445	35,000	38,000	+10,555	+3,000
営業利益	905	2,000	3,000	+2,095	+1,000
親会社の所有者に帰属する 当期利益	700	1,400	2,100	+1,400	+700
為替レート US\$	112	120	133	+¥21	+¥13

### ■ 年間配当予想の修正

中間、期末それぞれ28円の配当予想を、中間配当は10円増配の38円と決定。  
期末配当は中間配当と同額の38円、年間配当金は76円を予定

\* 2022/8/3発表値

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

4

続いて、通期計画です。

### ご覧の通り

売上収益は3兆8千億円、営業利益は3,000億円とし、  
その達成に向けて邁進していきたいと考えております。

### 株主還元につきましては

中間および期末それぞれ28円の配当予想から、中間配当は10円の増配を決定し、  
期末配当も同様に10円の増配を予定しております。

結果として、年間配当金は76円への引き上げを予定しております。

### (一拍)

北米を中心に販売モメンタムは好調を維持しております。

全社一丸となって1日でも早くお客様にお車をお届けできるよう、努力して参ります。

これからもご支援のほど、よろしくお願い致します。

ありがとうございました。



本資料に記載されている計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報、予測に基づいた仮定、および判断であり、様々なリスクや不確実性を含みます。将来における当社の実際の業績は、当社を取り巻く経済情勢、需要や為替レートの変動などにより、これらと異なる結果となる場合がございます。投資に関する最終決定は、上記の点を踏まえ、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願いいたします。本資料に掲載された情報に基づいて投資された結果、万一何らかの損害を被られましても、当社および各情報の提供者は一切責任を負いかねますので、併せてご了承ください。

続きましてCFOの水間より、決算の詳細につきましてご説明させていただきます。



## 2023年3月期 第2四半期決算説明会

株式会社SUBARU

取締役専務執行役員 CFO 水間 克之

2022年11月2日

## 2023年3月期 第2四半期累計実績

## 第2四半期累計実績 連結完成車販売台数・生産台数

(千台)

	2022年3月期 2Q累計実績	2023年3月期 2Q累計実績	増減
米国生産	124	143	+19
国内生産	218	283	+65
<b>生産台数* 合計</b>	342	<b>425</b>	+84

	2022年3月期 2Q累計実績	2023年3月期 2Q累計実績	増減
<b>連結完成車販売台数 合計</b>	375	<b>398</b>	+23

\*トヨタ向けGR86の台数を含む

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

8

初めに生産台数および連結販売台数についてです。

生産台数については、

半導体の供給不足等による生産制約のリスクは依然として残るものの、

柔軟に生産計画を調整したこと等により

前年同期に対し8万4千台の増となる42万5千台となりました。

連結販売台数については、

生産台数増加に伴い連結売上に結びつかないパイプライン在庫が増加していますが、

重点市場である米国を中心に堅調に推移し、

前年同期に対しグローバルで2万3千台の増となる39万8千台となりました。

第2四半期累計実績 連結完成車販売台数(市場別)

(千台)

	2022年3月期 2Q累計実績	2023年3月期 2Q累計実績	増減
登録車	35	40	+4
軽自動車	9	9	+0
<b>国内合計</b>	44	49	+4
米国	253	279	+26
カナダ	29	22	-7
欧州	7	8	+0
豪州	17	18	+1
中国	9	6	-2
その他	16	17	+1
<b>海外合計</b>	331	350	+19
<b>合計</b>	375	398	+23

市場別連結販売台数実績についてはご覧の通りです。

主要市場の米国では引き続き需要は強く、対前年同期で2万6千台の増となりました。

## 第2四半期累計実績 連結業績

(億円)

	2022年3月期 2Q累計実績	2023年3月期 2Q累計実績	増減
売上収益	13,417	17,509	+4,092
国内	2,179	2,816	+637
海外	11,237	14,693	+3,455
営業利益	545	1,104	+560
税引前利益	612	1,204	+592
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	448	779	+331
為替レート US\$	¥110	¥130	+¥21
EURO	¥131	¥137	+¥6
CAN\$	¥88	¥101	+¥13

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

10

続いて、連結業績です。

売上収益は、  
為替レート差+2,423億円、  
販売台数増による売上構成差等+1,680億円により、  
前年同期比4,092億円の増収となる1兆7,509億円となりました。

営業利益は、  
前年同期比560億円の増益となる1,104億円となりました。

また、税引前利益は592億円の増益となる1,204億円、  
親会社の所有者に帰属する当期利益は331億円の増益となる779億円となりました。

前年実績対比

第2四半期累計実績 営業利益増減要因



為替影響	+1,027	売上構成差等	+562	原価影響	-513	諸経費等	-490						
US \$	+1,084	新車国内	+93	SUBARU	-370	SIA *1	-143	製造固定費	-79	販管費	-48	保証修理費	-363
EURO	+2	新車海外	+627	原価低減	+23	原価低減	+3	SUBARU	-111	SIA *1	+32	SUBARU	-83 (為替換算影響含む)
CAN \$	+51	販売奨励金	+77	原材料・市況等	-393	原材料・市況等	-146	外製型費	-80	外製型費	+23	国内ディーラー	-3
中国元	+1	その他	-235					固定加工費	-31	固定加工費	+9	SOA *2	-1
仕入為替調整	+177											SCI *3	+5
未実現利益分	-288											その他	+34

\*1 SIA: Subaru of Indiana Automotive, Inc. \*2 SOA: Subaru of America Inc. \*3 SCI: Subaru Canada Inc.

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

次に、営業利益増減要因についてです。

原材料・市況等の悪化や諸経費等の増加が減益要因となりましたが、販売台数の増加および販売価格の改定等により、売上構成差等で+562億円となりました。(左上の吹き出しに記載の通り、)第2四半期より販売価格改定による業績への貢献が本格化し、売上構成差等のうち価格構成差で+485億円となりました。

また、USD約21円の円安を主因とする為替影響で増益要因となっているものの、(右上および中央の吹き出しに記載の通り、)第1四半期決算と同様に、急激な為替変動により未実現利益消去額および保証修理費が大きくなっています。

在庫台数の増加に加え、台当たり単価上昇の影響により未実現利益消去額は-652億円、うち為替影響が-288億円です。

保証修理費-363億円のうち、製品保証引当金残高の為替換算影響が-229億円含まれています。

米国市場向け販売奨励金については、前年同期の台当たり900ドルに対し150ドル減となる750ドルとなり、奨励金総額としては29億円の削減となりました。

## キャッシュフロー / 手元資金状況

(億円)

	2022年3月期 2Q累計実績	2023年3月期 2Q累計実績	
営業活動によるCF	638	2,123	
投資活動によるCF	-819	-1,100	
フリーCF	-182	1,023	
財務活動によるCF	-475	-460	
現金及び現金同等物の為替影響額	67	1,024	
	2022年3月末	2022年9月末	増減
現金及び現金同等物 期末残高	8,831	10,418	+1,587
有利子負債 期末残高 *	3,340	3,326	-15
ネットキャッシュ	5,490	7,093	+1,602

\*リース負債は上記の実績に含んでおりません。

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

12

次にキャッシュフローおよび手元資金の状況です。

フリーキャッシュフローは1,023億円となりました。

現金及び現金同等物の期末残高は、

USD建て預金の為替換算影響+1,024億円を含み、前期末に対し1,587億円増となる1兆418億円、

有利子負債残高は、前期末に対し15億円減の3,326億円となりました。

その結果、ネットキャッシュは前期末に対し1,602億円増の7,093億円となりました。

## 設備投資・減価償却費・研究開発支出

(億円)

	2022年3月期 2Q累計実績	2023年3月期 2Q累計実績	増減
設備投資 *1	382	551	+168
減価償却費 *1	460	495	+36
研究開発支出 *2	616	519	-97

\*1 リース取引および無形資産に係る設備投資、減価償却費は上記の実績に含んでおりません。

\*2 報告期間中に発生した研究開発活動に係る支出額を記載。

尚、IFRSでは当該支出のうち資産性の認められる一部の支出を無形資産として計上し、見積耐用年数に基づき償却するため、連結損益計算書上の「研究開発費」と異なります。(日本基準における連結損益計算書上の研究開発費と一致)

設備投資などの実績については、ご覧の通りです。

## 2023年3月期 見通し

## 通期計画 連結完成車販売台数・生産台数

(千台)

	2022年3月期 通期実績(a)	2023年3月期 前回計画(b)	2023年3月期 今回計画(c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)
米国生産	272	-	-	-	-
国内生産	455	-	-	-	-
<b>生産台数* 合計</b>	<b>727</b>	<b>1,000</b>	<b>970</b>	<b>243</b>	<b>-30</b>
	2022年3月期 通期実績(a)	2023年3月期 前回計画(b)	2023年3月期 今回計画(c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)
<b>連結完成車販売台数 合計</b>	<b>734</b>	<b>940</b>	<b>920</b>	<b>+186</b>	<b>-20</b>

\*トヨタ向けGR86の台数を含む

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

15

続いて、2023年3月期 通期計画についてご説明いたします。

生産台数については、

不透明な状況は継続するものの、徐々に生産が回復している中で、

下期はコロナ前の水準である54万台レベルの生産にチャレンジいたします。

しかし、第2四半期までの制約影響を完全には挽回できず、

チャレンジ目標としていた100万台から97万台に修正します。

それに伴い、連結販売台数については94万台から92万台に修正します。

通期計画 連結完成車販売台数(市場別)

(千台)

	2022年3月期 通期実績(a)	2023年3月期 前回計画(b)	2023年3月期 今回計画(c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)
登録車	73	91	95	+22	+4
軽自動車	17	24	20	+4	-3
<b>国内合計</b>	89	115	115	+26	+1
米国	506	636	631	+125	-5
カナダ	49	53	50	+1	-3
中国	14	19	14	-0	-5
その他	75	118	110	+35	-8
<b>海外合計</b>	645	826	805	+160	-21
<b>合計</b>	734	940	920	+186	-20

市場別の連結販売計画につきましては、ご覧の通りです。

米国での景気後退の懸念は強く、状況については注視をしておりますが、現時点での営業現場の声やバックオーダー数等の状況を踏まえると、引き続き米国市場での当社に対する需要は強く、1台でも多く車を生産し、お客様の元へスムーズにお届けしてまいります。

## 通期計画 連結業績

(億円)

	2022年3月期 通期実績(a)	2023年3月期 前回計画(b)	2023年3月期 今回計画(c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)
売上収益	27,445	35,000	<b>38,000</b>	+10,555	+3,000
営業利益	905	2,000	<b>3,000</b>	+2,095	+1,000
税引前利益	1,070	2,000	<b>3,000</b>	+1,930	+1,000
親会社の所有者に帰属する 当期利益	700	1,400	<b>2,100</b>	+1,400	+700
為替レート US\$	¥112	¥120	<b>¥133</b>	+¥21	+¥13
EURO	¥130	¥130	<b>¥136</b>	+¥5	+¥6
CAN\$	¥89	¥95	<b>¥103</b>	+¥14	+¥8

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

17

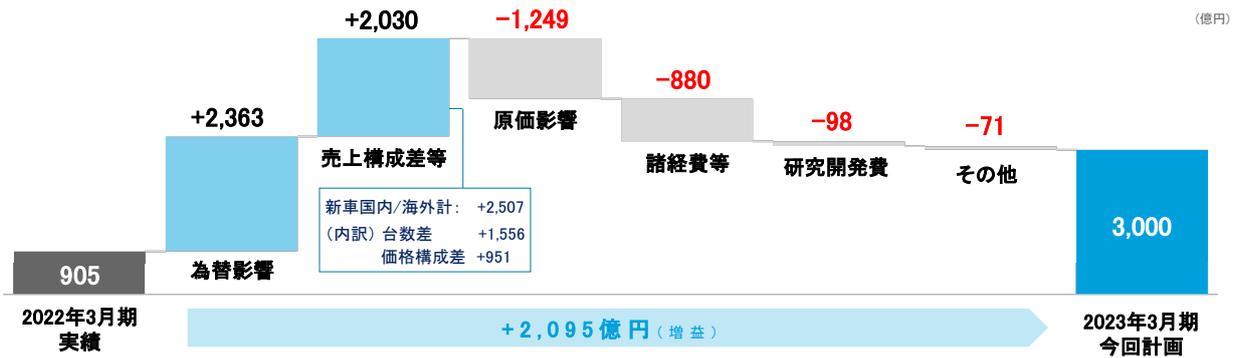
続いて、連結業績です。

原材料価格の高騰による影響はさらに拡大を見込みますが、  
価格政策や販売ミックスの改善などで一定程度打ち返すとともに、  
円安による増益効果を織り込み、  
前回計画に対して、売上収益および損益計画を上方修正いたしました。

USD前提を下期135円/\$、通期133円/\$とし、  
前回計画に対し、売上収益は3,000億円増となる3兆8,000億円、  
営業利益は1,000億円増となる3,000億円、  
税引前利益3,000億円、親会社の所有者に帰属する当期利益2,100億円を計画します。

前年実績対比

通期計画 営業利益増減要因



為替影響	+2,363	売上構成差等	+2,030	原価影響	-1,249	諸経費等	-880						
US \$	+2,362	新車国内	+211	SUBARU	-995	SIA *1	-254	製造固定費	-201	販管費	-249	保証修理費	-430
EURO	+8	新車海外	+2,296	原価低減	+74	原価低減	+1	SUBARU	-186	SIA *1	-15	SUBARU	-229 (為替換算影響含む)
CAN \$	+125	販売奨励金	-283	原材料・市況等	-1,069	原材料・市況等	-255	外製型費	-90	外製型費	-6	国内ディーラー	-11
中国元	-1	その他	-194					固定加工費	-96	固定加工費	-9	SOA *2	-59
仕入為替調整	+113											SCI *3	-11
未実現利益分	-244											その他	+61

\*1 SIA: Subaru of Indiana Automotive, Inc. \*2 SOA: Subaru of America Inc. \*3 SCI: Subaru Canada Inc.  
<https://www.subaru.co.jp/ir/>

次に、前年実績対比の営業利益増減要因です。

主な増益要因は、

連結販売台数18万6千台の増加による+1,556億円、  
 車種・グレード間構成の改善及び販売価格の改定による+951億円を見込み、  
 売上構成差等で2,030億円の改善を図ります。

また、USDドル約21円の円安を前提とし、+2,363億円となる見通しです。

一方、貴金属価格は落ち着いて来ているものの、  
 その他原材料・市況の高騰と、  
 エネルギー費等の高騰によるサプライヤーの負担軽減を含め、  
 前年度に対し、1,249億円の減益となる見通しです。

尚、上期業績でご説明した在庫未実現利益消去額の影響は年度を通じて残ります。

また、米国市場向け販売奨励金については、  
 米国金利上昇によりファイナンスサポートの費用が膨らみ、  
 前年の台当たり700ドルに対し350ドル増となる1,050ドルとなり、  
 奨励金総額としては286億円の増加となる見通しです。

前回計画(8/3発表値)対比  
 通期計画 営業利益増減要因

(億円)



新車国内/海外計: -46  
 (内訳) 台数差 -91  
 価格構成差 +45

為替影響	+1,504	諸経費等	+126	売上構成差等	-335	原価影響	-262	
US \$	+1,430	製造固定費 +61	販管費 +97	保証修理費 -32	新車国内	-50	SUBARU -341	SIA *1 +79
EURO	+9	SUBARU +39	SIA *1 +22	SUBARU -21 (為替換算影響含む)	新車海外	+4	原価低減 +46	原価低減 -26
CAN \$	+70	外製型費 +9	外製型費 +24	国内ディーラー +15	販売奨励金	+123	原材料・市況等 -387	原材料・市況等 +105
中国元	-1	固定加工費 +30	固定加工費 -2	SOA *2 +30	その他	-412		
仕入為替調整	+186		SCI *3 +5					
未実現利益分	-190		その他 +68					

\*1 SIA: Subaru of Indiana Automotive, Inc. \*2 SOA: Subaru of America Inc. \*3 SCI: Subaru Canada Inc.  
<https://www.subaru.co.jp/ir/>

次に、前回計画からの営業利益増減要因についてご説明いたします。

原材料・市況の悪化や連結販売台数の減による減益を見込むものの、  
 広告宣伝などの費用抑制によって改善を図ります。

尚、ここでも在庫未実現利益消去額の影響は残っております。

また、USDドルの前提を約13円の円安となる133円/\$に変更し、  
 前回計画に対し、1,000億円の増となる3,000億円の修正します。

## 設備投資・減価償却費・研究開発支出

(億円)

	2022年3月期 通期実績(a)	2023年3月期 前回計画(b)	2023年3月期 今回計画(c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)
設備投資 * 1	861	1,400	1,400	+539	±0
減価償却費 * 1	946	1,000	1,000	+54	±0
研究開発支出 * 2	1,138	1,200	1,200	+62	±0

\* 1 リース取引および無形資産に係る設備投資、減価償却費は上記の実績に含んでおりません。

\* 2 報告期間中に発生した研究開発活動に係る支出額を記載。  
尚、IFRSでは当該支出のうち資産性の認められる一部の支出を無形資産として計上し、見積耐用年数に基づき償却するため、連結損益計算書上の「研究開発費」と異なります。(日本基準における連結損益計算書上の研究開発費と一致)

設備投資・減価償却費・研究開発支出についてです。

いずれも前回の発表値から変更はありません。

## 株主還元

(億円)

### ▶ 一株当たり配当金

	2022年3月期 実績	2023年3月期 前回予想	2023年3月期 今回予想
中間	28	28	38
期末	28	28	38
年間合計	56	56	76
配当性向	61.3%	30.7%	27.8%

最後に、株主還元についてです。

上期の業績、通期計画の上方修正および資金状況を総合的に踏まえた結果、中間配当は10円増配の38円と決定し、期末配当は中間配当と同額の38円、年間配当金は76円を予定します。

次ページ以降は、セグメント情報等の参考情報となります。

以上で2023年3月期 第2四半期決算の説明を終わります。ありがとうございました。

## ご参考

- ・ セグメント情報（事業別 / 所在地別）
- ・ 海外売上収益
- ・ 連結財政状態計算書
- ・ 単独販売台数
- ・ 米国子会社業績
- ・ 第2四半期（3ヵ月）連結業績実績
- ・ 下期 連結業績計画
- ・ 2022年3月期及び2023年3月期実績（四半期別）
- ・ 生産台数 / 小売台数 推移

## 第2四半期累計実績 事業セグメント情報

(億円)

	売上収益				営業利益			
	2022年3月期 2Q累計実績	2023年3月期 2Q累計実績	増減	2023年3月期 通期計画	2022年3月期 2Q累計実績	2023年3月期 2Q累計実績	増減	2023年3月期 通期計画
自動車	13,061	17,134	+4,073	37,135	520	1,100	+580	2,951
航空宇宙	332	351	+19	819	-7	-32	-25	2
その他	24	24	+0	47	31	36	+5	47
消去・全社	-	-	-	-	1	0	-0	-
合計	13,417	17,509	+4,092	38,000	545	1,104	+560	3,000

## 第2四半期累計実績 所在地別セグメント情報

(億円)

	売上収益			営業利益		
	2022年3月期 2Q累計実績	2023年3月期 2Q累計実績	増減	2022年3月期 2Q累計実績	2023年3月期 2Q累計実績	増減
日本	3,151	<b>3,876</b>	+725	-42	<b>778</b>	+820
北米	9,672	<b>13,053</b>	+3,381	542	<b>862</b>	+320
その他	594	<b>580</b>	-14	19	<b>12</b>	-7
消去・全社	-	-	-	25	<b>-548</b>	-573
合計	13,417	<b>17,509</b>	+4,092	545	<b>1,104</b>	+560

## 第2四半期累計実績 海外売上収益

(億円)

	2022年3月期 2Q累計実績	2023年3月期 2Q累計実績	増減
北米	9,911	13,235	+3,324
欧州	320	303	-16
アジア	420	467	+47
その他	586	688	+101
合計	11,237	14,693	+3,455

## 連結財政状態計算書

(億円)

	2022年3月末	2022年9月末	増減
<b>資産合計</b>	35,438	<b>39,224</b>	+3,786
流動資産	20,422	<b>23,726</b>	+3,303
非流動資産	15,015	<b>15,498</b>	+483
<b>負債合計</b>	16,427	<b>18,584</b>	+2,156
有利子負債	3,340	<b>3,326</b>	-15
<b>資本合計</b>	19,010	<b>20,640</b>	+1,630
利益剰余金	14,663	<b>15,224</b>	+561
親会社の所有する帰属持分	18,908	<b>20,535</b>	+1,627
親会社の所有者に帰属する持分比率	53.4%	<b>52.4%</b>	-1.0%
D/Eレシオ	0.18	<b>0.16</b>	-0.02

## 第2四半期累計実績 単独販売台数

(千台)

	2022年3月期 2Q累計実績	2023年3月期 2Q累計実績	増減
国内生産*	218	283	+65
国内売上	40	50	+10
登録車	32	40	+8
軽自動車	8	10	+1
輸出台数	188	228	+40
海外生産用部品	168	153	-15
単独合計売上	396	431	+34

\*トヨタ向けGR86の台数を含む

## 第2四半期累計実績 米国子会社業績

(Million US\$)

SOA *1	2022年3月期 2Q累計実績	2023年3月期 2Q累計実績	増減
売上高	8,103	9,125	+1,022
営業利益	547	521	-25
当期純利益	435	354	-81
小売販売台数(千台)	301	267	-34
SIA *2	2022年3月期 2Q累計実績	2023年3月期 2Q累計実績	増減
売上高	3,256	3,939	+682
営業利益	-126	-38	+87
当期純利益	-98	-26	+73
生産台数(千台)	124	143	+19

\*1 SOA: Subaru of America Inc. \*2 SIA: Subaru of Indiana Automotive, Inc.

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

第2四半期(3ヵ月)実績 連結完成車販売台数(市場別)

(千台)

	2022年3月期 2Q実績	2023年3月期 2Q実績	増減
登録車	16	23	+7
軽自動車	4	5	+1
<b>国内合計</b>	20	28	+8
米国	136	140	+4
カナダ	17	11	-6
欧州	4	3	-1
豪州	10	9	-0
中国	4	3	-1
その他	8	8	-0
<b>海外合計</b>	180	174	-5
<b>合計</b>	200	203	+2

## 第2四半期(3ヵ月)実績 連結業績

(億円)

	2022年3月期 2Q実績	2023年3月期 2Q実績	増減
<b>売上収益</b>	7,065	<b>9,168</b>	+2,103
国内	1,049	<b>1,546</b>	+497
海外	6,016	<b>7,622</b>	+1,607
<b>営業利益</b>	249	<b>735</b>	+485
<b>税引前利益</b>	269	<b>819</b>	+550
親会社の所有者に帰属する <b>四半期利益</b>	263	<b>506</b>	+244
<b>為替レート</b> US\$	¥110	<b>¥135</b>	+¥25
EURO	¥131	<b>¥140</b>	+¥9
CAN\$	¥89	<b>¥105</b>	+¥16

前年実績対比

第2四半期(3ヵ月)実績 営業利益増減要因

(億円)



為替影響	+583	売上構成差等	+450	原価影響	-355	諸経費等	-152							
US \$	+709	新車国内	+107	SUBARU	-262	SIA *1	-93	製造固定費	-10	販管費	-25	保証修理費	-117	
EURO	-	新車海外	+451	原価低減	+13	原価低減	-	SUBARU	-37	SIA *1	+27	SUBARU	-44	(為替換算影響含む)
CAN \$	+33	販売奨励金	+64	原材料・市況等	-275	原材料・市況等	-93	外製型費	-26	外製型費	+15	国内ディーラー	-2	
中国元	-	その他	-172					固定加工費	-11	固定加工費	+12	SOA *2	+12	
仕入為替調整	+66											SCI *3	+1	
未実現利益分	-225											その他	+8	

\*1 SIA: Subaru of Indiana Automotive, Inc. \*2 SOA: Subaru of America Inc. \*3 SCI: Subaru Canada Inc.

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

下期計画 連結完成車販売台数(市場別)

(千台)

	2022年3月期 下期実績	2023年3月期 下期計画	増減
登録車	37	55	+18
軽自動車	8	11	+3
<b>国内合計</b>	45	67	+22
米国	253	353	+100
カナダ	20	27	+8
中国	5	7	+2
その他	35	68	+32
<b>海外合計</b>	314	455	+141
<b>合計</b>	359	522	+163

## 下期計画 連結業績

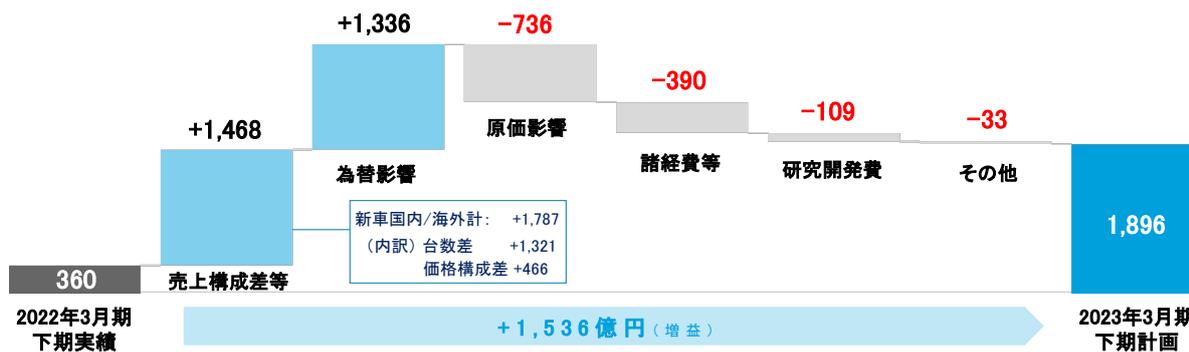
(億円)

	2022年3月期 下期実績	2023年3月期 下期計画	増減
<b>売上収益</b>	14,029	<b>20,491</b>	+6,462
国内	2,701	<b>3,232</b>	+531
海外	11,328	<b>17,259</b>	+5,931
<b>営業利益</b>	360	<b>1,896</b>	+1,536
<b>税引前利益</b>	458	<b>1,796</b>	+1,338
親会社の所有者に帰属する <b>四半期利益</b>	252	<b>1,321</b>	+1,069
<b>為替レート</b> US\$	¥114	<b>¥135</b>	+¥21
EURO	¥130	<b>¥135</b>	+¥5
CAN\$	¥90	<b>¥105</b>	+¥15

前年実績対比

下期計画 営業利益増減要因

(億円)



売上構成差等	+1,468	為替影響	+1,336	原価影響	-736	諸経費等	-390					
新車国内	+118 US \$	+1,278	SUBARU	-625	SIA *1	-111	製造固定費	-122	販管費	-201	保証修理費	-67
新車海外	+1,669 EURO	+6	原価低減	+51	原価低減	-2	SUBARU	-75	SIA *1	-47	SUBARU	-146 (為替換算影響含む)
販売奨励金	-360 CAN \$	+74	原材料・市況等	-676	原材料・市況等	-109	外製型費	-10	外製型費	-29	国内ディーラー	-8
その他	+41 中国元	-2					固定加工費	-65	固定加工費	-18	SOA *2	-58
	仕入為替調整	-64									SCI *3	-16
	未実現利益分	+44									その他	+27

\*1 SIA: Subaru of Indiana Automotive, Inc. \*2 SOA: Subaru of America Inc. \*3 SCI: Subaru Canada Inc.

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

2022年3月期および2023年3月期実績(四半期別)

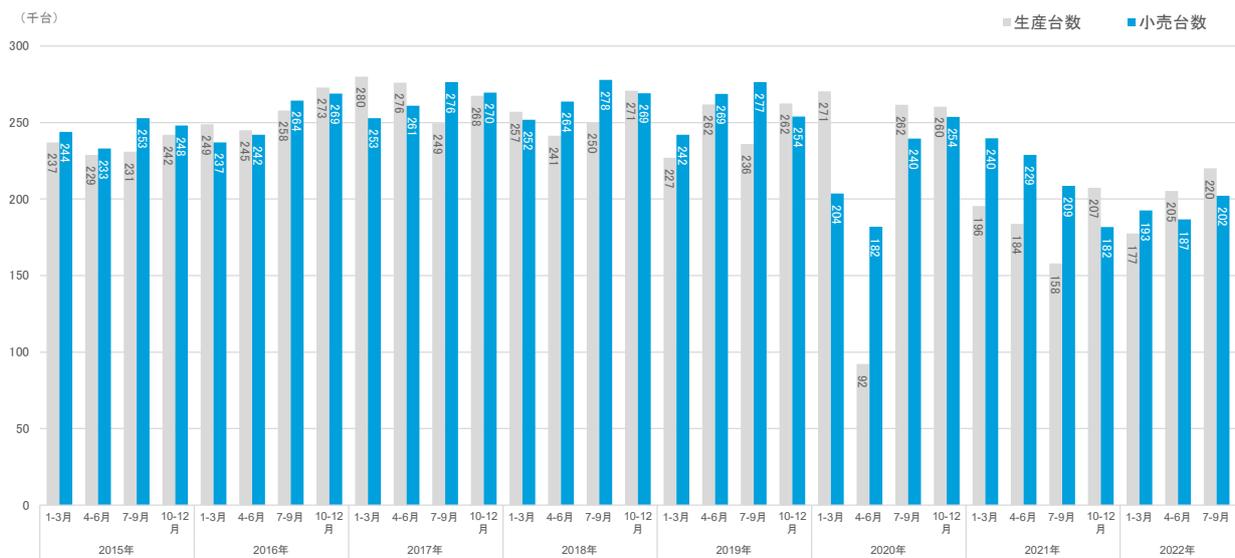
(億円)

	2022年3月期				2023年3月期	
	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q実績	1Q実績	2Q実績
連結販売台数(千台)	175	200	172	187	196	203
生産台数*(千台)	184	158	207	177	205	220
売上収益	6,352	7,065	6,659	7,370	8,341	9,168
営業利益	295	249	227	133	370	735
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	185	263	181	71	272	506
為替レート US\$	¥109	¥110	¥113	¥115	¥125	¥135

\*トヨタ向けGR86の台数を含む

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

## 生産台数 / 小売台数 推移



\* 生産台数にはトヨタ向けGR86の台数を含む

<https://www.subaru.co.jp/ir/>



本資料に記載されている計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報、予測に基づいた仮定、および判断であり、様々なリスクや不確実性を含みます。将来における当社の実際の業績は、当社を取り巻く経済情勢、需要や為替レートの変動などにより、これらと異なる結果となる場合がございます。投資に関する最終決定は、上記の点を踏まえ、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願いいたします。本資料に掲載された情報に基づいて投資された結果、万一何らかの損害を被られましても、当社および各情報の提供者は一切責任を負いかねますので、併せてご了承ください。